

7月 臨時会議 7/12

◆議会の議決に付すべき財産（全自動薬剤分割分包機ほか一式）の取得について
原案可決

7月12日に開催した7月臨時会議において、議会の議決に付すべき財産の取得について審議しました。

町立病院において、主に入院患者の薬剤を一回ごとに服用するための、一包化する全自動分割分包機が経年劣化したため、更新するものです。今回更新するものは、全自動分割分包機、全自動錠剤包装機、調剤支援システム、調剤監査システムの一式です。
落札予定価格が700万円以上となった契約のため、議会の議決に付すべきものとなりました。4者による

指名競争入札の結果、契約金額749万9千円（落札率99・3％）で契約されたとの説明がありました。
その後採決に移り、全員賛成により原案可決しました。

7月第2回 臨時会議 7/27

◆あけぼの園 介護職員募集のための介護職員求人サポート手数料、簡易陰圧装置の設置を計上した一般会計補正予算などを原案可決

第4

4回目の令和3年度下川町一般会計補正

予算及び第2回目の令和3年度下川町介護保険特別会計補正予算（介護サービス事業勘定）を7月27日に開催した7月第2回臨時会議で審議しました。

介護職員求人サポートは、

特別養護老人ホーム「あけぼの園」において、介護職員募集に伴い、事業者に登録された職員のうち、紹介された職員が採用に至った場合に手数料を支払うものです。

また、園内で感染症患者が発生した場合に、隔離措置を行うための簡易陰圧装置の整備を行うための補正予算を計上しています。

議員からの質疑では、「今回、介護職員求人サポート手数料を予算計上するにあたっての発案者は誰か」「医療福祉連携会議との連携は図られているのか」といった質問に対し、「発案者は、現場からの声である。今回の人材募集については、連携会議には諮っていない」との答弁がありました。

また、「介護職員の人材不足は、町だけの問題なのか。また、介護分野に限らず町全体として人材不足なのか」「人材育成の観点から、下川商業高校生や名寄市立大学の学生向けに奨学制度などを設けるべきでないか」との質問に対し、「全道・全国的に、福祉施設に

おいて人材が不足している状況にある。また、長期的な人材確保策は検討すべきであると考えている」との答弁がありました。

さら

らに、「福祉分野に限らず、職員が中途退職するというのは根本的な課題があるのではないか」「求人サポートを受けて採用された職員が短期間で退職する場合の対応策は」との質問に対し、「職員の定着については特効薬はないが、様々な対策を継続して取り組んでいきたいと考えている」「半年間を超えて退職された場合は返金規定が無い」との答弁がありました。

「介護分野の労働環境の改善について、入浴介助が負担になっている。労働環境を改善するため、ロボットを導入、さらなる事務作業の軽減、軽作業をサポートする町民の体制整備、そして、介護労働者の賃金の改善が必要でないか」との質問に対し、「ロボットの導入については、情報収集をして条件に合うものがあれば導入を検討したい。事

務作業の改善については順次整備したい。賃金を含めた職員の待遇改善については、一部対応してきているが、必要に応じて待遇改善したいが、施設の性格上難しい。労働環境を改善して、長く勤めてもらえるように努めたい」との答弁がありました。

簡易陰圧装置については、「介助者は陰圧された空間内で作業は可能なのか」との質問があり、「園内の感染対策会議において、発生した場合の対応を打ち合わせしており、マニュアルも作成中である。感染者が発生した場合には、これまで検討してきた作業工程を遵守しながらできる限り職員の不満が起きないように対応したい」との答弁がありました。
賛成討論として、現場の実態を把握して、課題は何かをSDGsの視点から町独自の指針に基づいて、町長のリーダーシップを発揮すべきであるとの意見がありました。
その後採決に移り、全員賛成により原案可決しました。